

# 会 議 顛 末 書

会議名	令和3年度第3回恵庭市社会福祉審議会・障害者福祉専門部会（書面開催）
日 時	令和4年2月10日（木）※表決書返信期日
場 所	※書面開催
出席者	<p>【委員】書面表決書提出者 10名（過半数以上のため成立） 津田 久 部会長、泉 司 副部会長、下原 干城 委員、佐山 美恵子 委員、薬袋 真也 委員、高橋 光彦 委員、寺田 節子 委員、長谷川 深雪 委員、高橋 正俊 委員、笹嶋 明美委員</p> <p>【恵庭市】12名 狩野保健福祉部長、足立保健福祉部次長、高橋保健センター長、伊東子ども未来部長、高橋子ども未来部次長、佐々木子ども発達支援センター長、狩野子ども家庭課長、前野子ども家庭課主査、小路障がい福祉課長、佐藤障がい福祉課主査、小山障がい福祉課主査、鈴木（記録）</p>
内 容	<p>1. 「えにお障がい福祉プラン」の推進に関する意見書の提出について ⇒「A委員」地域に根ざし、開かれた施設に、ということなので、期待したい。誰もが入りやすい明るい施設に。</p> <p>2. 障がい福祉施策における重点項目について 1) 農福連携事業について ⇒「A委員」コロナ禍で賃金が下がっている事業所が多い。就労の選択肢の一つとして農福の場も考えられるようより広くPRが必要。事業所に所属していない方への情報提供が必要。市役所でも野菜を売ってはどうか？ 「B委員」御夫婦で経営されている農家さんがやまびこ利用者が手伝う事に感謝されていた事にこちらが感謝でした。</p> <p>2) 恵庭市手話言語条例による施策を推進するための具体的取組について ⇒「A委員」テーマソングを通して手話を身近に感じてもらえる取組は素晴らしいです。幼稚園～小中高、大学等より多くの方への普及頑張ってもらいたい。SNSをもっと駆使して。</p> <p>3) 障害者差別解消法及び障がい理解の普及事業について ⇒「A委員」差別解消に向けての合理的配慮や環境整備は課題が山積み。可視化して一つ一つ解決していくことが大切。 「C委員」学校教育において、障がい全般にわたる教育（授業）を取り入れてもらいたい。目に見えない障がい（知的・情緒）も取り入れてもらいたい。</p> <p>3. その他意見等 「A委員」福祉プラン作成にあたり、頂いたアンケートの皆さんの声にきちんと応え返して頂きたい。特に相談体制の強化。</p>

《C委員》農福連携事業…工賃の値上げを検討してもらいたい。(物価の上昇、パートなどの最低賃金が上がっているので)

以 上